



平成 23 年 4 月 6 日

各 位

会 社 名 株式会社免疫生物研究所
(コード番号：4570)
本店所在地 群馬県藤岡市中字東田 1091 番地 1
代 表 者 代表取締役社長 清 藤 勉
問 合 せ 先 取締役経営企画室長 木 下 憲 明
電 話 番 号 0274-22-2889 (代表)
U R L <http://www.ibl-japan.co.jp>

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成22年10月22日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせ申し上げます。

記

1. 平成 23 年 3 月期通期業績予想数値の修正（平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日） (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	1,020	160	155	195	316 円 36 銭
今回修正予想 (B)	1,060	85	75	125	202 円 79 銭
増減額 (B - A)	40	75	80	70	
増減率 (%)	3.9				
前期実績 (平成 22 年 3 月期)	1,059	185	189	230	373 円 35 銭

2. 修正の理由

当期における業績予想につきましては、売上高において、米国タコニック社との日本での独占販売代理店契約が終了（平成22年9月10日発表の「米国タコニック社の遺伝子改変マウス及び遺伝子改変ラット製品の日本での独占販売代理店契約終了に関するお知らせ」参照）したことにより、厳しい事業環境に追い込まれましたが、営業部門を再編し、自社開発製品の販売に注力することにより、本契約終了による影響を最小限に食い止めることができました。また研究用事業では、差別化のできる自社開発製品を継続して上市することにより、市場での高い評価を受けることが出来ました。その結果、下半期において販売増を確保することができ、前回発表予想の1,020百万円を40百万円上回る1,060百万円の見込みであります。

営業利益、経常利益及び当期純利益につきましては、自社開発製品の販売が好調に推移し、自社開発製品の売上が取扱商品の売上を大幅に上回ったことにより、売上総利益率が改善致しました。また、企業構造の再構築及び収益力の更なる強化を図ることを目的とした三笠研究所の抜本的な組織改革を実施したことにより、業務効率が大幅に改善されました。

そのような状況下、昨年実施致しました希望退職者の募集（平成22年10月22日発表の「人

員削減等の合理化および特別損失計上に関するお知らせ」参照)により8名退職し、その他の退職者を含め、当期における退職者数は3月末までに合計19名の人員の削減となりました。これらの結果、下半期における利益は黒字になり、通期においては、営業利益は85百万円、経常利益は△75百万円、当期純利益は△125百万円の見込みであります。

以上のように、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前回発表予想を上回る見通しであります。

なお、今回の業績予想の修正に伴い、当社が掲げる「中期経営計画」(平成22年10月22日発表の「中期経営計画の見直しについて」参照)につきましても現在見直しており、決定後、速やかに開示致します。

- ・上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上